

Sky Seminar

ハワイ学からみる
米大統領候補オバマ人気の秘密

アメリカでは次期大統領選挙の候補者レースが熱戦を帯びている。とりわけ民主党は、いともまして候補者たちが激しい「ドブト」を演じている。そんな民主党の大統領選挙候補者の中で、注目的はなんと、オバマ候補である。本命のクリントン候補に肉薄して各地で熱烈な支持を集めている。

オバマの人気の理由のひとつは、白人の母と黒人の父をもつ「ドブト」な出自だ。彼の褐色の身体は、人種対立の歴史を克服したいというアメリカの民衆的希望を象徴しているかのようだ。

ハワイ社会を長年研究してきた私は、オバマの出生地がハワイであることに注目してきた。彼は一九六二年にホノルルで生まれた。父はワイ大学で学ぶが、ア

メリカでは次期大統領選挙の候補者レースが熱戦を帯びている。とりわけ民主党は、いともまして候補者たちが激しい「ドブト」を演じている。そんな民主党の大統領選挙候補者の中で、注目的はなんと、オバマ候補である。本命のクリントン候補に肉薄して各地で熱烈な支持を集めている。

人留学生母はフランスの中流階層出身の白人女性だ。その後、父がハワイに去り、両親は離婚。オバマは再婚した母の連れ子として、時々カルタゴ暮らしのちふたたびホノルルに戻り、進学校で有名なオバマ高校を七九年に卒業するまで、ワイで青春を過ごした。私のハワイ留学が八〇年だから、彼は入れ替わりでホノルルに暮らしたことになる。

白人と黒人のダブルいゆる混血というオバマの出自には、ワイ特有の社会環境が深く関わっている。公民権運動以前のメリカは、白人と黒人の結婚は多大な困難を伴った。しかし、ワイでは例外的に異なるエスニック間の結婚、インターマリッジが広く受け入れられてきた。十九世紀のオバマ王朝時代からインターマリッジの比率は高く、オバマが生ま

れた六〇年代では、三六パーセントを占めた。その傾向はさらに高まり、今日では五〇パーセントに迫る。ワイはエスニック間の垣根の低い社会なのだ。そこで市民たちが他のエスニック出身の親類や肉親をもつのは、当たり前の風景だ。

アメリカは、人種の多様性がとてつねに高まってきている。しかし、これはすでに過去の言説である。「国内のエスニックの多様性を肯定し、共存を求め、多文化主義の理念「エスニック・サマール」が今日の国是だ。しかし、現実の多文化社会は、まだまだ、エスニックの境界が明確で互いに交わらない多文化社会もある。これを「ダブル・エスニック社会」と私は多分呼んでいる。これに対し、ワイの多文化社会は、個々のエスニック集団は独自性を維持しつつも、互いに婚姻によって混じり合い、境界面でもっとも粘着している。私に言わせれば、インターマリッジ型多文化社会だ。

本土とは異なり、ワイは最大多数の白人ですら過半数に達しない「みんなマイノリティ」の島社会である。人びとは微妙なバランスの上に、共同生活のネットワークを紡いできた。インターマリッジ型の多文化社会はその結果である。私はワイ社会の観察をとおして、このような多分社会を、よく複合文化社会と定義するようになった。

複合文化社会がオバマの「ドブト」たちの生育環境にどのような影響を及ぼしているかを指摘する研究も多し。このような環境で育ったダブルたちは、肯定的自己イメージを形成しやすく、異なる価値や文化の間を調停する媒介者としての役割を担う人材となりうるからだ。

1. 本稿でいう「白人」とは、人種概念上の亜種としてのコーカソイド系を意味する。
2. 本稿でいう「黒人」とは、人種概念上の亜種としてのネグロイド系を意味する。



西宮上ヶ原キャンパス
〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号
神学部 文学部 社会学部 法学部 経済学部 商学部 人間福祉学部(2008年4月開設)

神戸三田キャンパス(KSC)
〒669-1337 兵庫県三田市学園2丁目1番地
総合政策学部 理工学部

山中速人

関西学院大学
総合政策学部教授。
社会学博士、文化社会学。

やまなかはやと

1953年生。関西学院大学社会学部卒、ハワイ大学大学院ソーシャルワーク修士課程修了。合衆国イーストウエストセンター助手、文部省放送教育開発センター助教授、東京経済大学教授、中央大学教授をへて現職。
著書に「ハワイ」岩波新書、「アロハヒルト」筑摩書房、「エスニック」の組織論、有斐閣、「娘と映画をめぐって」民族問題研究会「現代企画室」など多数。